

秋田高専第6回共同教育講演会 あなたは、 いつも正しい判断をしていますか？

日本ユーティリティサブウェイ(株) 開発部長 小野崎 守

自己紹介 (1)

年齢	業務内容	役割
0	秋田県羽後町生まれ	
16	高専入学	学生
21	電電公社入社	訓練生
22	MH, 橋梁設計	社員
25	トンネル設計	//
27	標準化, 新技術導入	次席
32	MH, 橋梁設計	係長

年齢	業務内容	役割
34	支社投資計画	係長
36	アプリ製造 (道路占用図)	//
39	支店投資計画	課長
41	支社投資計画, ランドデザイン	//
43	会社設立PJ	//
45	W杯PJ	//
47	光インターネット販売, エリア拡大	//

自己紹介 (2)

年齢	業務内容	役割
49	支店営業, 地域窓口	支店長
51	出向 共同溝警備システム開発	部長
56	NTT退職 出向先に採用される	//

- 小野崎 守 60歳
 - 日本ユーティリティサブウェイ(株) 開発部長
 - 秋田高専 8期 土木科卒業
 - 秋田県雄勝郡羽後町生まれ
 - 特徴
 - 結構、ポジティブ
 - 社内では、なんでも屋
 - 広く浅く経験しているから？

転機 1 イメージで入学 高専・土木科

事実

- 動機：先輩が高専に入学（小6）
- 学生として扱われた
 - 自ら学び、自らの行動を求められた
- 熱く指導してくれた恩師の方々
- 強い絆で結ばれた仲間
 - 4年間寮生
- 高専生であったからの今の自分がいると思える

気づき

- 15歳で人生の進路を自ら選択
- 大学に進学したら、別の人生があったかも？
↓（しかし）
- 恩師，仲間に認められた5年間
 - 各科1名の表彰に
 - 恩師と個別に交流

転機 1 この恵まれた環境をどう過ごすか？

伝えたいこと

- 辛いこともあったが、一人の学生として認められ、充実した5年間。
- 恩師等との交流は、社会に出てからの「礎」となった



- 「良い結果」がでなくても、5年間を勉強，運動，学生会等に自分を燃やす
- もっと、先生の部屋に遊びに行く
- 先輩や後輩と交る

ポイント

- すべてに、結果を求めずに、燃えてみよう！
- 真摯な生き方の積み重ねが、あなたになる

転職 2 電電公社に入社

事実

- 「土木」で生きる／親の面倒をみる
 - 地元で、安定した企業
- 電電公社に入社
 - 「土木」に関わったのは僅か12年
 - 東北には一度も務められず
- 公社，NTT等影響力のある方々との出会い
 - 本社勤務，上位組織で
 - 直接，間接的にサポートしてくれた

気づき

- 自分の夢，進路は自分が決められる
 - 関係者や組織の方針等により、左右される
 - 影響力を受け入れて、最終決断するのは、自分である
- 夢，進路は無限
 - 「とことん追い求める」，「切り替える」のも、どちらも正しい
 - 正しい判断だから、熱くなれる
- 出会いが、「巡り合い」につながる
 - 巡り合いが進路に好影響を与える

転機 2 鮮烈な出会いが重なる若き日

伝えたいこと



ポイント

- 自らの行動を選択する「権限」
 - 選択した結果に対する「責任」
- ↓
- 選択と責任は、多くの巡り合いの関係の積み重ねに影響を受ける
 - 意識の外でも影響を受けている

転機 3 ローカルの疎外感に悩んだ日々

事実（挫折）

- 初めての係長：茨城通信部
 - 地元の大農家の息子
 - 部下全員が年上
- ↓
- 社内で自分の場がない雰囲気
- ↓
- 地元のボス的な社員の暗黙の認知
- 高専卒の先輩,他通信部出身の上司の支援

気づき

- どの通信部にもローカル性はある
 - 閉塞感,警戒感（誰でもが持っている）
 - 理解度が深まると絆は太くなる
- ↓
- 「真摯に向き合う,受け止める」事は、相手に届きやすい
- 見えないところで多くの支えがある

転機 3 疎外感は心の持ちよう

伝えたいこと

- 相手の存在を認める
 - あなたへの相手の反応・対応には理由がある。それを受け入れることが大切
 - 波長が合わない相手こそ、相手を認める
- あなたがなしえたことは、沢山の方々の関与があって成功している
 - 自分だけの成功ではない
 - ↓ (逆に)
 - あなたの決断の誤りでもない

ポイント

- 真摯に向き合おう、受け止めよう
- 相手の存在を認めれば、相手もあなたを認めてくれる
- すべて一人でなせるものではない。
 - 多くの人々の直接、間接の支えがある

転機 4 達成感がまるでない日々

事実（挫折 2）

- 関東管内の設備投資計画策定責任者
 - 未経験の投資計画策定→部下も
 - 頼る相手なし
 - いつも上司にダメ出し



- その後の人生含めて、最大の挫折
 - 退職,「自殺」がよぎる

気づき

- 自分の力量,結果を素直に認める
 - でも、自分を否定してはいけない
 - そんな自分を好きになる
 - 他人の「自分への評価」と自分の「自分への評価」は違う
- 目標を達成できなくても、常に努力することが大切！
 - その結果にいたる過程が大事
 - 必ずそれを認めてくれる人がいる

転機 4 自分も愛する存在である

伝えたいこと

- 自分は、愛するに値する存在である
- 他人の自分に対する評価
 - 賛辞⇒感謝
 - 否定⇒他人の評価 = 自分の評価
 - ・改善の努力と感謝
 - 否定⇒他人の評価 ≠ 自分の評価
 - ・酷評, 忠告に感謝
- 今の努力は、いつか花咲く
 - 努力を見てくれている方が必ずいる

ポイント

- どんな時でも真摯に取り組む
- 自分も愛する存在であることは、忘れてはならない
- どこかに自分を認めてくれている人は必ずいる